

学校福祉施設関係

明治34年4月1日 工業学校規定にもとづいて、徒弟学校から脱皮して工業学校（甲種で中学校と同等）に昇格した。

明治34年10月1日 南都留郡組合立に変更し、郡組合立染織学校と改称

明治38年4月1日 三十八年二月一日の県告示で山梨県工業学校と改称され、この時、同時に廃校となつて県立第二中学校（後の日川中学校）都留分校（大月）の校舎に移転

明治43年4月1日 県告示（三月二十一日）により再び徒弟学校規定に格下げされて、本科二ヶ年で色染科、機械科が設置され、別科は六ヶ月であった。谷村町に移転した学校は、県立工業試験場（旧谷村分院）に併置された。

大正4年4月3日 谷村町上谷八一〇の一番地 現在の校地内に新校舎が落成し移転

大正9年4月1日 徒弟学校規定が廃止されたので、工業学校規程にもとづいて学則を改正し、修業年限三ヶ年の（甲種）工業学校となる。

大正12年4月1日 大正九年四月十五日に設立した南都留郡立実業学校（商業）を合併し山梨県立工商学校と改称した。（修業年限五年）

大正13年4月1日 入学資格を尋常小学校卒業程度に変更する。（修業年限五年）

明治29年3月19日 山梨県南都留郡染織学校が、現在の依田石材店所在地に設置され、十月二十日授業を開始した。

谷村工商学校

昭和16年4月1日 県立谷村工商学校と改称する。

昭和18年4月1日 工業化学科を設置

昭和19年3月1日 染織科・商業科の生徒募集を中止

昭和19年4月1日 機械科を設置、谷村工業学校を谷村工商学校内に新設

昭和21年3月31日 谷村工業学校を廃止

昭和21年4月1日 谷村工商学校生徒募集を再開

昭和22年4月1日 学制改革のための第一学年の募集を停止、谷村工商学校併設、中学校を併置

昭和23年4月1日 学制改革のため谷村南高等学校を設置

昭和23年8月25日 定時制課程を設置

昭和24年4月30日 併設中学校を廃止

谷村高等女学校

明治37年4月1日 高等小学校女子卒業生のため町立谷村女子補習学校を谷村小学校内に併置して、裁縫を主とし、中学程度の教科書により、修身、国語、算術、家事、生理等の授業を行った。

大正5年4月1日 認可を得て谷村実科女学校と変更し、入学資格を尋常小学校、卒業修業年限四年、高等科（二年）卒業より三年に編入

大正6年4月1日 町立谷村実科高等女学校に昇格

大正15年3月31日 町立谷村高等女学校と改称

昭和3年4月1日 補習科を設置

昭和3年4月15日 上谷家中小学校校地に接続して新校舎が落成し移転

昭和6年3月31日 二十日落成式を挙行

昭和6年3月31日 校舎 亜鉛葺平家建 二〇〇坪

昭和6年3月31日 建築費 二万二千六八〇円

昭和6年3月31日 敷地買収費・家屋移転費 六千三〇〇円

昭和6年3月31日 設備費 二千九四〇円

昭和6年3月31日 県立に移管され、山梨県立谷村高等女学校と改称

昭和6年3月31日 補習科を廃止

昭和9年7月30日 校地拡張のため上谷二七七番地宅地五八五坪を所有者野呂泰淳より買入れ県へ寄附する。

昭和13年6月30日 女学校運動場水路に甲蓋を架設

昭和20年4月24日 専攻科を設置

昭和20年8月31日 専攻科を廃止

昭和23年4月1日 山梨県立谷村高等学校を設置

昭和23年8月25日 学制改革により山梨県立谷村高等学校定時制課程（普通科・商業科・紡織科）設置

「町立谷村高等女学校県移管問題」

大正十五年、昭和三年、四年の三度にわたり、「町立高等女学校を県へ移管する件」として県議会で問題になった。昭和五年十二月十日、再び県議会へ提案され、与党民政党は谷村町の

財政窮状による経営難を理由に賛成、野党政友会は大月に県立都留高等女学校があるのに近くへまた一校県立にすることは他校の零細な補助金まで削らなければならないし、また県民の税金で谷村町を救済する必要はないと反対した。激論の末、反対派は中立派を巻き込んで、遂に否決となった。

平田知事は再三上京して、内務省に原案執行の手続きをとり、昭和六年県立学校として認可された。

このため地元は校舎の寄附と、昭和六年より昭和十年まで毎年五千円づつ、計二万五千円寄附を申し出ている。

谷村高等学校

昭和25年4月1日 谷村南高等学校、谷村東高等学校の両校を統合し、山梨県立谷村高等学校と改称、工業化学科を染色化学科と改称
昭和30年4月1日 染色化学科を工業化学科と改称
昭和1年10月2日 旧東校舎より普通科、商業科第一学年、全生徒統合校舎に移転し、完全に統合した。

昭和32年3月31日 工業化学科実習棟（平家建て）の建築が完成
昭和33年3月31日 紡織科を廃止
昭和36年4月11日 鉄筋ブロック三階建校舎の建築が完成
昭和38年4月1日 高等学校教育課程改正に伴い家庭科の募集を停止

昭和38年4月1日 繊維機械科を新設し、第一学年より募集を開始（紡織科の募集停止）
昭和39年3月26日 昭和三十九年三月二十六日未明、不慮の火災に遭い、第一棟及び第二棟の一部を焼失

昭和40年11月29日 管理棟新築（鉄筋三階建）起工式を挙
昭和40年12月28日 昭和四十一年度入学募集定員を発表、普通課程商業課程の募集を中止
昭和41年2月13日 学校七十周年記念式典挙
昭和41年4月1日 桂高等学校設置に伴い普通科、二、三年全生徒桂高校該当学年に転入
昭和41年6月30日 管理棟の建築が完成
昭和42年5月30日 屋内体育館の建築が完成
昭和43年3月20日 格技場の建築が完成
昭和43年3月30日 織物工場（鉄筋平家建て）の建築が完成

谷村工業高等学校

（都留市上谷五丁目七の一）
昭和43年4月1日 単科制の工業学校となる。設置学科（繊維機械科一学級、工業化学科二学級、機械科三学級）
昭和45年4月1日 山梨県立谷村工業高等学校と改称
昭和46年4月1日 土木科（一学級）を新設し、第一学年が入学
昭和46年8月24日 土木科実習棟（鉄筋二階建て）の建築が

昭和47年3月31日 完成
商業科の募集を停止

昭和48年3月25日 機械科実習棟（鉄筋二階建て）の建築が完成

昭和48年4月1日 繊維機械を繊維工学科と改称
昭和49年3月31日 管理棟東半棟の建築が完成
昭和49年9月30日 工業化学科実習棟（鉄筋三階建て）の建築が完成

昭和50年3月25日 繊維工学科実習棟（鉄筋三階建て）の建築が完成

昭和51年11月20日 創立八十周年記念式典を挙
昭和51年11月20日 同窓会館の建築が完成した。

定時制課程

昭和23年8月25日 学制改革により山梨県立谷村高等学校定時制課程設置（普通科・商業科・紡織科）
昭和25年4月1日 校名変更、山梨県立谷村高等学校となる。
昭和26年6月1日 道志分校、宝分校（各普通科）設置
昭和30年4月1日 道志分校に短産課程家庭科設置
昭和33年3月31日 紡織科を廃止、道志分校の短産課程家庭科を廃止

昭和35年3月31日 宝分校を廃止
昭和36年4月31日 （別科家庭設置）
昭和39年3月26日 不慮の火災に遭い記録、設備を焼失

昭和40年3月31日 道志分校産学協同策により夜間定時制に転換。

昭和45年4月1日 校名を変更、山梨県立谷村工業高等学校
昭和46年5月15日 道志分校の新校舎が落成
昭和47年3月31日 商業科の募集を停止
昭和51年3月31日 商業科を廃止する。

桂高等学校

（都留市四日市場九〇九番地）
昭和41年4月1日 都留市上谷八一〇番地谷村高校内に山梨県立桂高等学校（普通科）を開校
谷村高等学校普通科第二、三学年を桂高校当該学年に編入
昭和41年10月10日 第二号館完成（鉄筋コンクリート造り四階建て）

昭和41年11月7日 開校記念式挙
昭和42年3月1日 第一回卒業式挙
昭和42年3月30日 音楽室が落成（鉄筋コンクリート平家建て）

昭和42年6月3日 本館落成・竣工式を挙
延べ面積二、二七七、〇三平方メートル
鉄筋コンクリート造り四階建て

昭和43年2月20日 完成 昭和42年3月30日
屋内体育館が落成
鉄骨造り平家建て

昭和43年3月20日 第三号館が落成

鉄筋コンクリート造り二階建て

昭和43年3月25日 校旗樹立式を挙行

昭和46年2月2日 格枝場落成(鉄骨造り、平家建て)

昭和50年9月21日 十周年記念式典を挙行、校歌碑及び記念庭園同窓会より寄贈

昭和51年6月21日 第四号館落成(鉄筋コンクリート造り、二階建て、一部三階)

大正三年7月 明治39年7月1日 本堂を仮園舎として県下二番目の幼稚園を創設

大正4年11月 明治39年11月 設立認可を得る、設立者原徴信、河口善之助、磯弥平、小林友益、西村嘉吉

大正14年8月 大正4年11月 長安寺附属事業となる

昭和3年11月 大正14年8月 境内に園舎を新設する

昭和11年11月 昭和3年11月 園舎増設(創立二十周年記念事業)

昭和29年4月 昭和11年11月 現在の講堂を増設

昭和32年11月 昭和29年4月 園舎増設(創立三十周年記念事業)

昭和50年4月 昭和32年11月 学校法人として設立認可をうく。花園龍哲理事長、園長に就任

昭和52年10月22日 昭和50年4月 花園光明園長に就任

鉄筋コンクリート造り二階建園舎を新築

竣工式を挙行、現在に至る。

社会福祉法人宝山寮

(都留市大幡五一八)

昭和36年

お年玉つき年賀はがきに附加された寄附金の配分二千万円が、山梨県に配分されることになったのを機会に財団法人山梨福祉事業会が昭和三十七年に設立され、配分金二千万円、県費補助五百万円、地元都留市の整地工事等の協力もあって、三十七年十月一日に完成した。
敷地 二五、〇一〇平方メートル
建物 一、五九〇、一八平方メートル
収容定員 六十五人

学校法人ひまわり幼稚園

(都留市つる二丁目三の二十三)

昭和39年4月3日

ひまわり幼稚園開園(認可昭和三十九年三月二十八日) 設置者森屋キミ子
土地 一、二六一、一九平方メートル
園舎 三二四、四平方メートル
定員 八十名

学校法人青藍幼稚園

(都留市上谷三丁目六の三〇)

明治38年

原徴信、長安寺に入山し日曜学校を設置

昭和40年4月1日

定員二二〇名に改正

昭和42年4月1日

土地拡張(一五五平方メートル、園舎増築(一四二、二三平方メートル))

昭和50年4月1日

土地拡張(八八七、〇九平方メートル、園舎その他拡張(四一一、一平方メートル)) 定員二四〇名に改正、現在に至る。

保育園

公私別	施設名	設置者	所在地	認可年月日	定員
公立	宝保育所	都留市長	大幡一五四一	昭二九・四・二九	当初 七〇
社会福祉法人	円通保育園	佐々木春子	中央三丁目5-1	二五・四・一	現在 当初 一六〇 一八〇
"	長生	山本義童	下谷 二九五四	二七・一・三〇	九〇
"	東陽	折山 君	古川渡 六五五	三〇・七・一	現在 当初 一六〇 一一〇
"	三吉	志村和彦	法能 八六六	三四・四・一	現在 当初 九三〇 九〇〇
"	境	杉田耕三	境 一二九	三六・一・一	現在 当初 九六〇 九〇〇
"	盛里	小俣務本	朝日會館一七九八	三七・四・一	六〇
"	川茂	志村 寛	川茂 一七二	三八・一・一	六〇
"	さくら	安藤 郁	田野倉 一三三四	三八・一〇・一	六〇
"	開地	亀沢布二子	小野 六二三	四〇・六・一	六〇
"	東桂	藤江恭平	夏狩 一四〇四	四二・四・一	現在 当初 一六〇 一〇〇

市立小・中学校の変遷

小学校

学校名	創立	戦前		戦後	
		戦	事	戦	項
谷村第一小学校 (上谷一丁目一の二)	明治4・12 興譲館谷村学校 5・8 公立谷村小学校	明治6・10・14 公立小学谷村学校 昇・田野倉・小形山 川茂・新井・羽根子	昭和三十九年四月二十九日 公立谷村第一小学校	昭和二十二年四月一日 町立谷村第一小学校	昭和二十二年四月一日 町立谷村第一小学校
谷村第二小学校 (法能九二三)	明治6・11 法能学校 三吉学校	明治7・2・5 公立小学法能学校 小野分校(小野村) 政伝分校(菅野村) 朝日分校(朝日馬場・朝日會 雌村) 誉索分校(与繩村) 右四分校を分離 開地分校・政伝分教場 盛里分校・誉索分教場 盛里分校を分離 開地分校を分離 三吉尋常高等小学校 三吉国民学校 谷村第二国民学校	昭和二十二年四月二十九日 町立谷村第二小学校	昭和二十二年四月二十九日 町立谷村第二小学校	昭和二十二年四月二十九日 町立谷村第二小学校

学校名	創立	戦前		戦後	
		戦	事	戦	項
都留文科大學 附属小学校 (大野三九六)	明治7・3 法能学校小野分校 法能学校政伝分校	明治9・4・16 公立小学開地学校独立 公立小学政伝学校 三吉小学校開地分校 政伝分教場 開地尋常小学校・同政伝分校 政伝分校廢止 開地尋常高等小学校 開地国民学校 谷村第三国民学校	昭和二十二年四月二十九日 町立谷村第三小学校 都留文科大學 附属小学校	昭和二十二年四月二十九日 町立谷村第三小学校	昭和二十二年四月二十九日 町立谷村第三小学校
東桂小学校 (夏狩七九六)	明治6・10・15 小沼学校十日市分校 鹿留分校 夏狩分校 8・11・15 小沼学校境分校	明治7・2・7 公立小学鹿留学校 公立小学夏狩学校 公立小学十日市学校 公立小学左界学校 鹿留学校大野分校 桂第二尋常小学校鹿留分校 夏狩分校 十日市分校 桂第一尋常小学校境分校 鹿留分教場 夏狩分教場 十日市分教場 境分教場 桂村立鹿留尋常小学校 夏狩尋常小学校 十日市場尋常小学校 境尋常小学校 東桂村立鹿留尋常小学校 夏狩尋常小学校 十日市場尋常小学校 境尋常小学校	昭和二十二年四月二十九日 村立東桂小学校 市立東桂小学校	昭和二十二年四月二十九日 村立東桂小学校	昭和二十二年四月二十九日 村立東桂小学校

学校名	創立	戦前		戦後	
		戦	事	戦	項
禾生第一小学校 (古川渡五五三)	明治6・9 谷村学校(禾生)分校 川茂分校	明治8・9・12	公立小学具学校 禾生第一小学校 川茂分校統合	昭和22・4・1	村立禾生小学校 田野倉分教場 (分離独立)
禾生第二小学校 (田野倉一三三〇)	明治6・10・14 谷村学校小形山分校 " 7・4・10 谷村学校田野倉分校	明治8・9・12	公立小学田野倉学校 尾形学校 尾形学校川茂分校を統合 禾生第二小学校 田野倉学校は分校 田野倉尋常小学校 尾形尋常小学校 田野倉尋常小学校と 尾形尋常小学校 禾生尋常高等小学校へ統合	昭和22・4・1	村立禾生第二 小学校 市立禾生第二 小学校
	明治7・12・31 法能学校誉索分校	明治9・4・11	公立小学誉索学校(独立) 盛里学校へ統合 盛里学校から分離独立 三吉学校誉索分校 盛里学校へ統合 盛里小学校誉索分校 誉索尋常小学校独立 誉索国民学校	昭和22・4・1	村立誉索小学校 市立与繩小学校 禾生第一小学校 統合
		昭和16・4・1	公立小学田野倉学校 尾形学校 尾形学校川茂分校を統合 禾生第二小学校 田野倉学校は分校 田野倉尋常小学校 尾形尋常小学校 田野倉尋常小学校と 尾形尋常小学校 禾生尋常高等小学校へ統合	昭和22・4・1	村立禾生第二 小学校 市立禾生第二 小学校
		昭和16・4・1	公立小学田野倉学校 尾形学校 尾形学校川茂分校を統合 禾生第二小学校 田野倉学校は分校 田野倉尋常小学校 尾形尋常小学校 田野倉尋常小学校と 尾形尋常小学校 禾生尋常高等小学校へ統合	昭和22・4・1	村立禾生第二 小学校 市立禾生第二 小学校
		昭和16・4・1	公立小学田野倉学校 尾形学校 尾形学校川茂分校を統合 禾生第二小学校 田野倉学校は分校 田野倉尋常小学校 尾形尋常小学校 田野倉尋常小学校と 尾形尋常小学校 禾生尋常高等小学校へ統合	昭和22・4・1	村立禾生第二 小学校 市立禾生第二 小学校

学校名	創立	戦前		戦後	
		戦	事	戦	項
宝小学校 (大幡二一四三)	明治6・10・13 公立小学金井学校 " 6・10・15 公立小学大幡学校 " 7・2・6 公立小学平栗学校	明治20・4・1	宝尋常小学校(三校統合) " 金井教場 " 大幡教場 " 平栗教場 宝第一小学校(金井教場) (平栗分校) 宝第二小学校(大幡教場)	昭和22・4・1	村立宝小学校 御座石分校 平栗分校 市立宝小学校 御座石分校 平栗分校 御座石分校廃止
平栗分校 (平栗五六)		昭和11・6・1	中津森尋常小学校 大幡尋常小学校 平栗尋常小学校 大幡尋常小学校御座石分教場 宝高等小学校 宝尋常高等小学校 中津森分教場 " 大幡分教場 " 平栗分教場 " 御座石分教場 中津森・大幡分教場廃止 宝国民学校 " 御座石分教場 " 平栗分教場	昭和11・6・1	

